

2026（令和8）年度 学園統一テーマ

蘇れ！ 熱き青春

統一テーマ入選作：40期 美術専攻

表紙絵説明 41期 健康と福祉A専攻 亀口 賢一

『盛夏 名古屋』

名古屋市役所は歴史的な建造物、以前から絵に描いてみたい想いがありました。特に青緑の屋根がお気に入り。

目次

学園統一テーマ・表紙絵説明・	2
目次	2
巻頭言・特別寄稿（副学長）	3
特別寄稿（社会福祉協議会会長）	4
鯉城会だより	4
卒業式・入学式	5
学園職員の紹介	6
クラブ作品展	7
ボランティア活動	8
クラス通信	9
クラブ便り	18
エッセイ	30
短歌・俳句・川柳・詩	32
二〇二六年度役員名簿	33
学生会会計報告・決算	34
学生会会計報告・予算	35
編集後記	35
表紙入賞作品	36



第99号 2026年（令和8年）9月

発行／名古屋市鯉城学園学生会 編集／広報委員会 ☎ 052-222-7521

特別寄稿

ごきげんよう

名古屋市鯉城学園副学長 廣田 みどり



それだけの量の言葉が、口にした本人と聞いた相手の脳に蓄積して与える影響を思うと、毎日美しい言葉に触れ続けていたと願います。

しかし残念ですが、怒りの言葉を発する人もいます。それは脳の老化が原因という場合もあるそうです。老化に伴う脳の萎縮は前頭葉から始まり、感情のコントロールが効かず怒りっぽくなるとのこと。

しやいますね。加えて前頭葉を鍛えるには 入力（記憶）より出力（思い出す）が大切だといえます。

長年ためた記憶、知識、情報を引つ張り出す力を、意識的に鍛えましょう。最も簡単な方法は「誰かと話すこと」。

さあ、今日も誰かと美しい言葉でお話をして、イキイキと生きましよう。

鯨城会だより

鯨城会の活動を共に楽しく



本年4月より鯉城会会長として活動する事になりました。32期文化Aの宮澤です。どうぞよろしくお願いします。

40期の皆様、この広報誌をお手に取られる頃は学園生活もあと半年あまりとなり、秋の学園諸行事をはじめ、充実した学園生活の締めくくりとしてのお気持ちはなまっていることと思います。

41期の皆様は、入学して半年。これから学園の諸行事が続きます。専攻の授業も含めてお忙しい時間を過ごされていますが、何事もチャレンジです。正面から取り組んでいく事が必要ではないかと考えています。学園を通して、新しいお友達、新しい知識、新しい活動がこれからの人生を支えてくれるものと思っています。

鯉川会館に、園を卒業して大学の哲学生活の一語とてその縁に
 ませぬが、活動をしておりました。鯉川会館の活動を通して、学園生の皆様こそは6月
 の「鶴舞公園グリーンキャンペーン」にてお会いいたしました。梅雨の晴れ間の、
 大変暑い中あがりとうございました。
 この秋には「堀川清掃大作戦」が実施されます。来年3月には「名古屋ウイメ
 ンズマラソン」にて担当区域こそ違いますがそれぞれ揃つての参加となります。
 直接学園生との関わりは各区ごとに開催いたします。「地域ミートینگ」にお
 介し各々の活動（クラブ活動・諸行事）（地域ボランティア活動の実績）等を紹介
 互いの理解を深めて頂いております。
 また、秋に集中しておりますが、各々に「作品展」を開催しております。是非
 非拝様もクラブ活動を通して制作されました作品を出展していただきたく、改
 めてご案内したいとも考えております。

鯨城会の活動は、鯨城学園の2年間の延長線上にあると思っております。新しいお友達の交流、楽しいクラブ活動や諸行事、ちよつと気になるボランティア活動への参加などを通して、大きく言えば地域社会への参加貢献、普通に考えれば、生活の中での一つの潤いとして、一緒に活動をしていければと考えております。

学園生活を楽しく、お過ごしください。そして鯨城会活動に続けていきましょう。どうぞ、宜しくお願ひ致します。



地域活動指導員
原田 健一
園芸専攻
総務・自主活動



副学長
廣田 みどり
陶芸専攻



学長 広沢一郎（名古屋市長）

二〇二六（令和八）年度 学長並びに学務主任等の紹介
を紹介します。



学務主任
大島 隆二
健康と福祉専攻
教務・自主活動



学務主任
伊藤 悟
歴史と文化専攻
自主活動・総務



学務主任
小西 只剛
暮らし・美術専攻
総務



学務主任
加藤 徹也
国際専攻
教務



学務主任
鶴飼 愛一郎
音楽専攻
自主活動



事務員
安井 洋二



事務員
大脇 正枝



主事
堀田 博資



事務員
中村 一美

事務室・楽陶館職員の紹介
私達が日頃お世話になっております学園事務室並びに楽陶館の職員を紹介します。



陶芸実習指導員
野崎 智子



陶芸実習指導員
石原 さおり



統括陶芸実習指導員
加藤 さやか



副館長
野田 美裕

楽陶館職員

2026年3月24日

第39期生 卒業式

〜〜ご卒業おめでとうございます〜〜

第39期「卒業証書授与式」は、広沢一郎学長（名古屋市長）はじめご来賓の方々をお迎えし3月24日（火）に伏見ライフプラザ5階「鯉城ホール」にて開催されました。2年間の修学を終え358名の方々が晴れて卒業式を迎えられました。

皆様、ご卒業おめでとうございます。これからも益々のご活躍をお祈りいたします。



卒業証書授与式

2026年4月10日

第41期生 入学式

〜〜ご入学おめでとうございます〜〜

第41期「入学式」が4月10日（金）に伏見ライフプラザ5階「鯉城ホール」にて開催されました。今年度は8専攻12クラス536名を迎え、新入生を代表して「誓いのことば」が述べられました。新たな学園生活のスタートをお祝い申し上げます。



学長式辞 広沢一郎名古屋市長



誓いのことば

「マラソンボランティアしました」

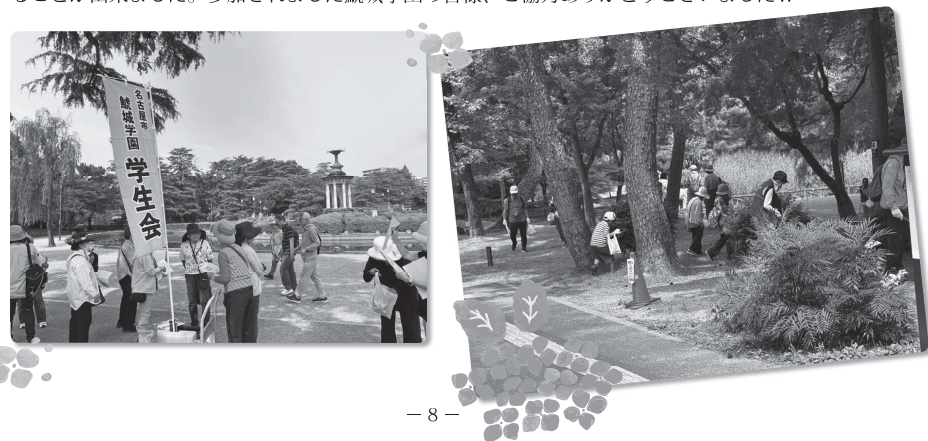
マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2026

2026年3月8日(日曜日)「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2026」運営ボランティアに鯉城学園学生会として、鯉城生399名が参加しました。気温10℃、風が強かったものの快晴で絶好のマラソン日和。鯉城生はコース整理を担当しました。



2026年度鶴舞公園クリーンキャンペーン

2026年6月13日(土曜日)、鶴舞公園にて「鶴舞公園クリーンキャンペーン」が、開催されました。今年度は、鯉城学生会272名と鯉城会208名計480名の方が参加されました。気温30度前後ではありましたが、爽やかで園内はゆりやアジサイなど花いっぱいの中、無事終了することが出来ました。参加されました鯉城学園の皆様、ご協力ありがとうございました!!



第29回 クラブ作品展

名古屋市鯉城学園「学生会」が主催するクラブ作品展が、2026年2月10日(火)から14日(土)にかけて、市民ギャラリー栄にて開催されました。

今回の作品展では、なごやか絵手紙クラブ、パソコンペイントクラブ、たのしい短歌クラブ、書道クラブ、水彩画クラブ、水墨画クラブの6つのクラブによる展示が行われ、延べ4,500名の皆様にご来場頂きました。

各クラブの39期生及び40期生の力作が展示され、来場者からの熱心な質問に答えたり、記念写真を撮ったり、お互いのクラブの作品をじっくり鑑賞し合ったりと大変充実した作品展でした。

今年度の第30回クラブ作品展の開催に向けて、更に多くの来場者の皆様をお迎えしたく、41期生を加えたクラブ員一同、より一層の精進をしていきたいと思っております。



クラス通信

*クラスの様子など

暮らしのヒントを再発見

四十期 暮らし専攻 松浦 みち子

一般市民向け講演会が鯉城ホールで開催されたとき、フト手にした令和7年度入学案内に「自分を高め、地域で活躍 そんなあなたに鯉城学園」とキャッチフレーズがありました。さらに、暮らし専攻には、「暮らしのヒントを再発見 生活の中で役立ててみませんか」との誘いの一文がありました。わたし個人の携わってきた53年間の働きに一区切りをつけた時であり、招きの言葉や鯉城学園のうわさも相まって背中を押されるように学びへと一歩踏み出しました。

クラスの皆さんは、それぞれの人生を歩んで来られた方ばかりです。わたしにとっては「みな先生!」。また、学園での学びの数々は、まさに目から鱗の内容で、時代の変化の中で、暮らしのヒントを発見する日々です。この場に身を置かねば得ることの出来ない貴重な知

識を手に入れています。

体育祭、文化祭、またクラスの交流会などを通して、仲間との絆も固く結ばれ、互いに励まし合って青春の真ただ中を奔走しています。

利他の心でクラスのお世話を引き受けてくださっている方々の心配りにも感謝です。さらに学びの輪が深められ、役立つ者に成長できますようにと願っています。

あたたかいクラス40期国際A

四十期 国際専攻A 五十川 淳子

一年前の今頃、文化祭で日本と諸外国の違いについて寸劇を交え発表することになりその準備が始まり、私は文化祭サポーターとしてかわることになりました。

同じグループの皆さんの役に立つこともできず、迷い道に引き込んでしまいハラハラドキドキさせてしまいました。そればかりが、寅さんと明智小太郎、中国人に扮してもらうという無茶ぶりまでも。

そんな状況でもグループの皆さんは、自主的に与えられた役の役作りをしたり、衣装を整えたり等、とても助けられました。

監督や文化委員の方にもいろいろ教えてい

う、との思いで鯉城学園に入学しました。前置きが長くなりましたが、そんな漠然とした思いで「国際」を専攻した訳ですが、入学早々クラス代表に担ぎ出され、海外駐在や多くの国々を旅行した経験豊富な強者揃いの中、当初は戸惑う事ばかり。

幸い、クラスの皆さんの協力を頂き、最近では鯉城のベテラン? Kさんの尽力もあり、クラス内で様々なサークルが立ち上がるなど和気藹々の雰囲気。私自身は先頭で引っ張るというよりも、諸先輩方の最後尾でクラス全体のバランスを調整する役割かな、と思ってやっています。

2年目となる体育祭・文化祭を控え、クラスの絆がより一層深められるよう、但し肩肘の力は抜いて、皆さん楽しませましょう。

一年を振り返って

四十期 健康と福祉専攻A 中野 薫

私が鯉城学園を知ったのは知り合いの方の「修学旅行に行く」の言葉からでした。

同年代の方から、まさかの修学旅行? に驚き、もう縁のないと思っていた学生生活を再び送る機会があることを知りました。

学園に入学をすることができ、最初にクラ



ス役員を決めたり、希望のクラブを選んだりと忙しい生活が始まりました。本当の学生になったのだと実感しました。

体育祭に向けてスポーツセンターなどで練習をし、選手の選抜が行われました。

優勝を目指すという大きな目標にびっくりしましたがクラス全員と良い汗をかきました。結果私たちのクラスは優勝することができました。一緒に喜び合えた貴重な体験でした。優勝の賞金は二年生の体育祭の施設使用料等に充てることになりました。目先の祝賀費用として利用することなく次年度を見据えての決定でした。

文化祭は、舞台発表でした。スポーツセンターや教室で何度も練習をしました。練習は体力的に大変でしたが同じ目標を持って班の方と過ごせた、とても楽しい時間でした。

一年生最後の日には来年度の文化祭についての話し合いがあり、五月から施設を借りての練習が予定されています。委員の方々の先を考へての計画に感謝です。クラスメイトはみな経験豊かで楽しい方々ばかりです。あと一年学生生活が続けられること本当に幸せだと思います。皆さんよろしくお願いします。

ただいても十分役割に応えられず、もどかしく思うことが多く、皆さんにサポーターされる、ちょっと情けない文化祭サポーターでした。あたたかい皆さんのお陰で役割を何とか果たすことができました。あたたかく前向きな人が多いクラスで、学び味わえることに感謝しています。

また、鯉城学園は体育祭・文化祭・修学旅行等、この年齢で経験できないことを体験できる場所です。

残り一年、いろいろな体験をクラスの皆さんと楽しみながらしていきたいと思っています。

我ら40期国際B

四十期 国際専攻B 佐藤 範人

『ミルフォード・トラック』『世界一美しい散歩道』

定年間近の頃に偶然観たテレビの深夜番組で、今は亡きスーちゃん(田中好子さん)がミルフォード・トラック(ニュージールランド)を3泊4日で歩き通したロングトレイルという存在を知り、その魅力に取りつかれました。

ロングトレイルは、日本を含め世界各地にあります。ただ歩きに行くだけでは勿体ないので、色々な国の歴史や文化に触れておこ

心新たに歩み出す日々

四十期 健康と福祉専攻B 中山 まゆみ

25歳で結婚し、昭和の王道をゆくような結婚生活を送ってきました。子育てとパートに迫られる日々が一段落し、60歳を迎えたとき「これからは自分のために時間をつかいたい」と考え始め、一念発起して鯉城学園に入学しました。

周りを見渡すと自分よりはるか年上の先輩ばかりですが、お一人おひとりが生き生きと学ばれており、たくさん刺激をいただく毎日です。昨年はクラス代表という大役を任せていただき、最初は不安もありましたが、学園行事の際には、皆さんが温かく協力を寄せてくださったおかげで、無事に成功を収めることができました。なかでも、全員で心一つにして踊った『マッケンサンバ』は、笑顔はじける活気に満ちあふれており、私にとっても最高の思い出になりました。

ここでは全員が「クラスメイト」ですが、同時に私にとっては、人生の先を歩む先輩方でもあります。皆さんが歩んできた道のりや、これからの豊かな生き方について、時間が許す限り、お話をきかせてもらいたいと思います。

みんなの研究発表がすごい

四十期 音楽専攻A 関山 勝之

私達の音楽クラスは、8班に分かれて順番に研究発表をしています。各班30分の発表と15分の質疑で、毎回驚きの連続です。

兼高かおるさんの様な世界の旅の達人、サックス侍の様なサックスの名手、スペイン・フランコダンスのセミプロ、楽しいマジック披露のプリンス、全国の祭りを駆け巡るカリスマ祭り男等、個性あふれる発表が続ぎ、次はどんな話が聞けるか楽しみです。

そんな中、私達の班5人は所属のクラブ活動の成果を、全員が替え歌を交えて発表する事にしました。まず、活動で楽しい事や苦労話をアンケートでまとめ、「幸せなら手をたたこう」「明日があるさ」「サザエさん」などの親しみやすい曲を選びました。

笑いを誘いたく、健康クラブでは「老人クラブではありません、似てる所ありますが」、オカリナでは「音漏れしないか一番気になる人は、うちのかみさんだ」、太極拳では「先生まねしてくると回ると、お手本消えて固まる私など楽しいエピソードを入れました。発表は7月です。プレッシャーもあります

が、本番ではクラブ活動の魅力を楽しく伝え、クラス全員で歌い盛り上げたいと思います。

苦手な分野に挑戦してみたら

四十期 音楽専攻B 児玉 典子

私は昔から音楽とか絵画とか芸術系の分野が苦手だ。曲を聴いたり絵を見たりするのは抵抗ないが自分でするとなるとからっきしだめでもいつでも尻込みしていた。しかし鯉城学園に入学するにあたりあえて苦手な音楽専攻を選んでしまった。それでこの原稿を書いている6月現在苦手は克服できたか？

それはとんでもない誤算であったことを思い知らされている。音楽の授業は楽しいが楽器の演奏となると素養の無さを思い知らされた。文化祭の練習にも付いていけない。楽譜が読めないのだ。しかし自分で選んだ道なので後戻りはできない。幸いにも学校には通えている1年の仲間が励ましも有って卒業を目指そうと思っている。思い起こせば一年前なるべく鯉城のクラスでは目立たないような影のような存在で良いと思っていた。それが2年生になったら少し気持ちが前向きなつて班以外の方ともお話をするようになった。授業後のお茶のお誘いも嬉しく感じている。

後残り十か月、卒業の時にはどんな気持ちになっているか楽しみになってきた。

音楽専攻Bのみなさんこんな後ろ向きな私でも今さらですがよろしく願います。

園芸を選択して

四十期 園芸専攻 荒川 宣之

私は58歳で突然、急性腎臓炎になり12年前に妻から腎臓を譲り受けて移植手術を行いました。それまでは月に2回ほどトレッキングにいそしみ、狭い家の隣で花や野菜を育て、退職後には100名山踏破を思い描いていましたが隠遁生活のような日々を送るようになりました。しかし3年程前から体調も少しずつ戻り、人との繋がりを求めシルバークレジットで学び始めました。そこで鯉城学園を知りました。ここには学園在籍中や卒業生が多く、ぼけ防止と仲間作りに最適だと思い入学を考えました。しかし専攻を選択するにあたり、特にこれと言った特技もない私でも、日頃慣れ親しんだ園芸ならと思い申込みました。運良く入学できましたが、カレッジの仲間話すと辛い夏の水やりの大変さの話ばかりで、怖じ気づいたものの後の祭りでした。ただ授業を受け始めれば、初心者も多く、先生方も

初歩の一步から指導していただけて、とても楽しかったです。文化祭では私は苗担当で18名の仲間と種から育てた250ポットを用意し、2年生も含め全て持ち帰っていたきました。後日つぼみのポットから「花が咲いた」とうれしい言葉もいただき、夏の苦勞も吹っ飛び園芸に入り良かったと思いました。

食卓の片隅で

四十期 陶芸専攻 平岡 和夫

吾輩は珈琲カップである。デコボコと歪な形をした、世界に2つとない珈琲カップである。吾輩誕生の秘話を語ろう。事の始めは区役所で鯉城学園のパンフレットを見た所から始まる。何気なく手にしたパンフレットに陶芸クラスの案内があった。吾輩の主人はよせば良いのに北大路魯山人にでもなった気分だったのか陶芸クラスに応募してしまった。それが間違いの始まりだった。風流る5月、菊盛り、紐作り、タタラ作り、手びねりと実習がスタートした。爽やかな季節のはずなのに冷や汗、油汗の連続。しつびきで真直ぐ切り取ったつもりがデコボコになっている。すぐに入学するのではなかったかと思知らされる。まさに落ちこぼれる寸前、出来の悪い生

徒程可愛いと思われたのか陶芸クラスの先生方の粘り強いサポートと励ましにより悪戦苦闘、難産の末、吾輩は誕生したのである。不細工で歪な吾輩の肌を見て製作者の奥さんは味わいがあって良いヨと慰めてくれた。奥さんはゲテモノ好きなのだ。以来、食卓の片隅で吾輩はコーヒータ임을潤すことになる。もうやめれば良いのに我輩の主人は今、電動ロクロで更なる陶芸の難しさを実感している。何とか吾輩の兄弟を作ろうと頑張っている。

美術を学んで

四十期 美術専攻 中西 まり子

40期の美術は女子多めの48名でスタートしましたが、現在数名減りました。それでも大所帯で、小さな椅子に腰掛けて、机一杯に画材を広げて学んでいます。

いろんな生徒がいますが、共通点は、自由できまま、絵を描くことが好きということです。

先生は3回の講義くらいで代わり、洋画家、日本画家に風景、静物等の描き方を教えてもらっています。先生によっては、前の先生と反対のことを指導されたりして、戸惑うことも多いのですが、本物の画家と接する機会が新鮮で学びになります。プロの言われること

は違うと、素直に傾聴しています。

一枚でも得心のいく絵、わたしの内なる思いを表現したい思いで描いています。皆さんに展覧会で見ていただく時は、どの絵も一生懸命その時の力の限り描いたものです。ぜひ暖かい目で良いところを見つけていただければ幸いです。

一枚の絵に3分は見ていただくとありがたいのですが、そういう絵を目指して頑張っています。

第二の青春

四十期 歴史と文化専攻A 磯部 敦子

定年退職を迎えるに当たり、毎日スーパーと家の往復とTVのお守りをする日々を過ごすのは、如何なものかと思生生涯学習センターで開かれた「前田利家講座」を受講し、中川区のボランティアガイドを始める事になりました。

そこで鯉城学園のクラブの方を案内して、他県から嫁いで来て名古屋の歴史や文化を何も知らない私は、もっと知りたい。ガイドで多くの人を知ったように、もっと多くの人と縁を結びたいと入学を決意。

最初の半年、学園で色々と学び知識を深め

る事はできたものの、思った程クラスの仲間とはあまり仲良くなれず、あまり話さないから名前も覚えられませんでした。

ところが、体育祭、文化祭の準備を進める内に、会話ははずみ、仲良くなり、ようやくクラス全員の顔と名前が一致。一つの目標に向かって取り組んだ一体感と達成感・充実感、何よりも得がたい経験となりました。

現在は、次の文化祭に向けて、昨年より素晴らしい舞台にしようと皆で準備奮闘中です。この一年で多くの多様な価値観を持つ友人を得る事ができ、人生経験が豊富な友人との会話の中で得る知識も多く、人生を豊かにする事ができたのではと感じています。

残り一年、鯨城学園で第二の青春を謳歌して、人としてもっと成長できたらと思っています。

鯨城学園に入学してよかった

四十期 歴史と文化専攻B 古田 恵子

40期歴史Bは、すばらしい方ばかりです。例えば、Kさん。親睦会を提案、最高に気がきく方です。「みんな仲間」と言い、グループ作りしてくれるIさん。仏様の様な方です。文化祭のテーマを提案し、一番働いてく

れたWさん。ありがとう。Nさん、Kさんは文化祭のまとも役だけでなく、大須や鶴舞を案内してくれました。私達のリーダーKさんは、今年は文化委員を引き受けてくれました。毎朝、ハイタッチをして元気を分けてくれるMちゃん。ありがとう。Nさんは、ボランティア精神に富む正義の味方です。最高齢のU君。明るく元気、若さを分けてくれます。班もよい方ばかり。Yさんは、困った仕事を引き受けてくれます。最後にFさん。毎回資料を作りクラス経営。あなたのおかげで一年生を無事おくることができました。

38期の先輩から、鯨城学園はよい方ばかりで楽しいと聞き、半信半疑。でも本当でした。私は杖をついて入学しました。咳をし、声も出ませんでした。今では一見病気にみえませんが一番幸せ!!「そんな体では止めとけ」と夫は言ったけれど、入学してよかった。いくつになっても、チャレンジはするものです。

学校ってこんな感じだった

四十一期 暮らし専攻 中森 君子

教室に入ると、後ろまで机がぎっしり並んでいて、そのすき間を縫って挨拶を交わした

員も忙しくなると思います。微力ながらお手伝いができればと。頑張ります。

次世代に託したい 平和を学ぶ

四十一期 国際専攻B 清水 悦二

寝室の壁に掲げてある「額」に書かれた「夢」という文字を観ながら、過ぎてきた人生を思い出し、夢には多種多様なものがあります。就寝中の夢、美しい女性に逢いたい、世界一周海外旅行、国家の権威者になりたい……。夢には、希望と欲望によって実現可能なこともありますね。しかし、人の夢ははかない。にんべんに夢の字「夢」と書きますよね！入校のキッカケは、知人の紹介により応募しました。私の今後、どう生きてゆくのか？人生の再生のためにも学びたいとの想いです。専門講座に国際を希望したのは、日本国内と国際社会の大変動を感じて大国をよく知るために学びたかったこと。

大國同士の権威争いと、馬鹿なメンツのぶつかり合いで繰り返されている現実。できれば子どもや孫たちに伝えて行きたい「平和」。知識として学びたく応募しました。幸せとは何か本当に尊いことはどこにあるのか？昔のころは夕陽のように赤く燃え、

り談笑したり、四十六名の熱気が満ちあふれています。私が中高生の頃も一クラス四十五名だったので、ああ、学校ってこんな「密」だったなあと思っていました。

鯨城学園には再入学制度があるそうで、このクラスにも多くの先輩方がいらっしやいます。経験をもとにクラス運営を引っ張ってくださり、わからないことは気軽に尋ねられて先輩方の存在は心強い限りです。

また、ミーティングではどなたもご自分の意見をしっかりと発言され、ボランティア活動に積極的な方も多くて、なかなか活気のあるクラスのように感じています。私もその一員として、ともに学び行事に参加していくのだと思うと期待がふくらみます。

先日の「暮らし」の講座ではタブレットを使いました。手元で入力した文字が、瞬時に会場の大きなモニターに映し出されて、思わず「おおっ！」と。ワクワクの初体験。新しいことを知って本当に楽しいです。

この二年間を、多岐にわたる講座を受けられることに感謝し仲間との親交を深め、実りあるものにしていきたいと思っています。



蛇のように野を走り花のように叫び狂いたい。華のように生きて来たかった。であったが今はすみれ良し、すみれのままで善しなれば蘭の高貴さ真似ずとも好し！の心境です。この2年間鯨城学園の皆様と一緒に頑張りました楽しみましょう！高齢者として、社会に何を残すべきか？

日本が世界で優位となるのは、ただひとつ学びによる知識を獲得できる「知恵」だけである。人生はこれからです。

健康が一番

四十一期 健康と福祉専攻A 北條 一男

学園に入学して、はや2ヶ月。

最初はクラス代表の選出では擦った揉んだと難航したが、無事に決まり一安心。

クラスは46名と大所帯で、男性は13名。

少数派の男性陣としては「希少動物」のように扱われるかと思いきや、実際は女性の皆さんの元気に圧倒される日々です。

どうやらパワーの差は人数以上に大きいようで、私は女性陣に追いつくの必死です。

実は私、膝痛を抱えており、「これは本気で体を整えないといけない」と、思ったことが、この専攻を選んだ理由の一つです。

鯨城学園に入学して

四十一期 国際専攻A 青木 久

永年やってきた洋菓子店を、体調の変化もあり閉店後、シルバー人材センターに登録し少しの仕事をしていました。そんな時にシルバー人材センターの事務所で鯨城学園のパンフレットを見て、人の輪を広げようと入学しました。さて、何を専攻しようかと迷い、実際にしました。これには洋菓子を作っていたこと、愛知万博の時に見て回った各バビリオンの思い出もあり、少しは国際的になれないものかと思った次第です。

初めてのクラス会で、何を思ったのかクラス代表に手を挙げてしまいました。

入学して約二ヶ月、講座はまだ数回しかなく一度は、JICA見学で学園の外に出かけ一回は荒天で休みになり、そんなこんなでクラスメイトの顔と名前が覚えられず右往左往しています。

しかし、荒天で休みになった時にクラスの各委員が偶然に集まることで、スマホのライン網を作ってもらったりして少しずつ前に進めているかと思っています。

これから文化祭、体育祭と行事もあり各委

太極拳の講座に参加しましたが、ゆったりした動きはすなわに、身体はヨタヨタで手と足はバラバラ、思うように動かず老いを実感。

今後はリズム体操や健康体操、ストレッチ体操にも挑戦し、固くなりつつある体を少しずつほぐしていきたいと思っています。

学びの輪、人の和を広げて

四十一期 健康と福祉専攻B 村田 圭介

このたび、私たちは健康と福祉について学ぶ2年間の学園生活をスタートしました。クラスには60歳代から80歳代までの約40名が集い、皆それぞれ異なる人生経験や知識をもっています。その一人ひとりが、この学びの場の大切な仲間です。

これから毎週の講座を通して、自身の健康づくりや身近な福祉への理解を深めることはもちろん、あらためて人と人とのつながりも育んでいきたいと思っています。新しい知識を得る喜びを分かち合い、困ったときには助け合い、互いの経験や言葉に耳を傾けることで、学園がより豊かな学びの場、交流の場となることでしょう。

年齢やこれまでの経歴に関係なく、誰もが

気軽に声をかけ合える温かなクラスを目指したいものです。笑顔であいさつを交わし、友情を深め、協力しながら学びや自主活動続けることで、この2年間は一人ひとりとってきつとかけがえのない時間になるはず。学びの輪、人の和を大切にしながら、健康で生きがいのある人生を送るために、皆で楽しく充実した2年間をつくっていきましょう。

学びを深め感謝の日々

四十一期 音楽専攻A 志村 和子

今春、愛知シルバークレッジを卒業して共に学んだ友人と再チャレンジ。元気なうちに鯉城学園へ行こうと決め、二人揃って念願の音楽Aに入学。入学前の見学会で、講師の方が奏でる三味線の音色、弦楽器の歴史等、興味深い内容に迷わず音楽を専攻しました。

しかし、入学時辺りから主人の長年の持病で有る腰の痛み、手足の痺れが悪化し、いづどうなるか分からない状況に有ったため、班長と学生会議鯉城の原稿のみをお引き受けしました。その後、6月初旬2回目の授業は欠席させて頂き、主人の腰部脊柱管狭窄症の手術となりました。その経験を通し、自身が学ぶ事は家族の健康有りきで、当たり前では無

い事を痛感しました。お陰様で手術の経過も順調で回復に向かっています。

41期生としてスタートしたばかりですが、皆さんと仲良く学びを深めて行きたいと思います。又、健康クラブに所属していますが、まだ一回の参加では有りますが先輩方の姿勢の良さと、機敏な動きについていけるか不安がよりますが、健康クラブのモットーである、「明るく、楽しく、元気よく」を心掛け、心身共に健康作りを目指して頑張って参ります。

楽しんでチャレンジ

四十一期 音楽専攻B 森 隆彦

60歳で定年を迎えた10年ほど前、これからの人生をどう生きていこうかと考えたとき、「嫌なことはせず楽しいと思うことをやるう」と決めました。

その後資格を取得したり、趣味の写真クラブを立ち上げたりしてきました。さらに昔から好きだった音楽にも再挑戦しようとピアノやギター教室に通いましたが、どちらも長くは続きませんでした。一人で演奏するのも楽しいのですが、子どもたちが高校時代にオーケストラや吹奏楽で仲間と演奏する姿を見て、また自身が高校時代に1年ほどフオークソン

グバンドを組み仲間とセッションした楽しい経験を思い出し、自分も仲間との音楽活動がしたい、という思いが次第に強くなりました。そこで、鯉城学園に入れば一緒に演奏できる仲間が見つかるのではないかと思い入学を決意しました。クラスで役員を決める際には、不思議なことに最後に残っていた役が文化委員でした。またクラブは、自分の撮影した写真を別の形で表現してみたいと思い水彩画クラブに入学しました。

入学してまだ2か月ほどですが、クラスもクラブもとても良い雰囲気、私が実現したいことに向けて楽しく取り組みそうです。

土に触れ、仲間と育む新たな日々

四十一期 園芸専攻 國田 毅

2年前に定年退職を迎え、自由な時間を満喫してきましたが、次第に人と接する機会の少なさを寂しく感じるようになりました。そこで今年から、以前より興味のあった鯉城学園への入学を決意しました。

数あるクラスの中から園芸クラスを選んだのは、10年ほど前から趣味で家庭菜園を続けており、大好きな野菜作りを体系的に学んでみたいと思ったからです。

私たちのクラスは総勢41名。そして10名ほどの4つのグループに分かれ、和気あいあいと活動しています。5月からは楽しみにしていた港区にある農園での農園実習が始まりました。仲間と協力しながら、ナスやピーマン、

トウモロコシ、カボチャなどの苗を丁寧に植え付けました。現在は水やりや草取りなどの当番に責任と楽しみを持って取り組んでいます。また、今まで行ったことのない名古屋朝顔の栽培も始まっており新たな体験に好奇心が高まる講座内容を楽しんでいます。

これまでは一人で黙々と向かい合ってきた野菜作りですが、これからはクラスの仲間と共に成長の喜びを分かち合えることが何よりの楽しみです。知識を深めることはもちろん、学園生活を通じて多くの仲間と交流し、実り豊かな時間を過ごしたいと思っています。

土と語らい友と集つ

四十一期 陶芸専攻 伊藤 裕康

電動ロクロによる作陶を夢み、「土と語らい友と集う」という思いで陶芸専攻に入りました。この思いは、四十一期陶芸専攻の皆さんも同じだと思っています。

そう言うものの、只今は、菊ぬり、ひも

作りと、土と語らうからは程遠く、悪戦苦闘しています。その中でも、指導員の先生のことをば聞き逃さず、手先の動きを見逃さないよう集中し、ひたすら模倣するという無心の時間はとても快いものです。終わった後も、次はもっとうまくやりたいという気持ちでいっぱい、心身ともに充実した時を過ごしています。

一方、陶芸の授業は無心で土と向き合っているため、同期の方々と話すことは極めて少ないですが、授業前後の時間に会話が弾み、親睦の和が広がっていると思います。

四十一期陶芸専攻は二十四名と小さな所帯ですが、クラス代表の私としては、「楽しくなさや四十一期陶芸じゃない」という思いで、体育祭も文化祭も、その準備段階から全員で話し合い、祭り本番では、全員笑顔で思いっきり楽しみたいと思います。

微力ながら尽力しますので、皆さん学園生活を大いに楽しみましょう。

鯉城学園に入学して

四十一期 美術専攻 辻 麻美子

60歳になったら鯉城学園に入学しようとい前より思っていました、昨年還暦だった

私は7月生まれのため、「4月1日で60歳の方」という規定に添わず、昨年は入学出来ませんでした。念願の入学が叶った今年、入学してみたら様々な年齢層、様々な人生を生きて来られたお友達が早速出来て、楽しいランチ、楽しいお喋りと、楽しい事が続いています。クラス長の方を始め、皆さん積極的な方ばかりで、楽しい鯨城ライフを送れそうな予感がしています。介護の仕事と、トワイライトのダブルワークをしている中での鯨城学園入学は無謀だったかな……と少し後悔もしました。美術初心者の私ですが、趣味の合唱の友達の勧めで美術専攻に入学してしまい、その上、血迷って水彩画クラブにも入部してしまい、自分の首を自ら絞めているのですが、出来る限り、頑張っけて行こうと思っています。私生活では、昨年11月に長女も次女も出産して、長女の上の子（4歳）に加えて赤ちゃんが2人も孫に加わり、私は1度に3人の孫のおばあちゃんとなってしまいました。とてもとても可愛い孫達を見ていたら、私も色々な事に頑張らなければ……という気持ちになりました。

2年間、少々無理しながら、ばあばも頑張るよ。楽しい学園生活になりますように。



40期 美術専攻 北條 真由美

再入学

四十一期 歴史と文化専攻A 天野 隆弘

2回目の入学です。37期で美術専攻に入り、初めて水彩絵に取り組んだが、見事に落ちこぼれてしまいしばらく絵から遠ざかった。が、卒業後2年経ち、何とも残念な気がしてきて今回水彩クラブで再挑戦するため再入学した。

そして、専攻はどうする？と悩んだが、長年住んでいながら名古屋をよく知らないのですね。まだ始まったばかりだが、名古屋の歴史をもっと学ぶのかもしれない。多様な内容で思惑がはずれつつあるが、今後に期待している。

クラブ便り

*活動体験記

昨年度を振り返って

郷土史クラブ 宮崎 基隆

郷土史クラブでは、講義・校外活動の見学及びバス研修旅行・ミーティングなどバランスよく活動するクラブです。

講義では、外部講師を招き「木曾三川」「小路物語」「荒子観音」を学びます。

今年度は、昨年文化祭で紹介した大河ドラマ「豊臣兄弟！」に関連して、見学先に、秀吉清正記念館、徳川美術館、名古屋博物館を組み入れました。見学は、定例活動の時間だけでなく、自主活動を実施して、充実したクラブ活動になっています。

また、六月のバス研修旅行では、滋賀県の石山寺、近江八幡に行きました。

個人では、行ったことのある見学先でも、ガイドさんの説明を聞き、メンバーと楽しく見学ができ、新しい発見がありました。

昨年新役員に選出されてからは、今年度の

水彩クラブは絵経験者多く皆さん上手、先生の指導もしっかりしていて下手なりに何とかついてゆきたい。

人運に恵まれ、歴史・水彩とも100歳まで突っ走りそうな元氣・積極的な方が多く、この先の学園活動での交流が大いに楽しみである。前回37期では絵描き自体は撃沈したが、その時の仲間とは今も仲良くお付き合いしている。仲間サークルでスケッチ散策会、花&史跡めぐり、飲み会など私のシニアライフでの貴重な時間となっている。41期の方々と同様に良い仲間を得てさらに楽しい日々したいと願っている。

第2ステージの始まり

四十一期 歴史と文化専攻B 山下 博子

3月末で退職し、仕事に全力疾走してきた私の人生に静かな余白ができた。趣味は数多くあるものの、いざ自由になると、「シングルのワタシ、誰が生存確認してくれるの？」という現実的すぎる不安が出てきた。社会とのつながりの多くは、仕事を通してのものだったと気づくことになった。

そんな中、「私、4月から大学に行くの」と友人に話すと、「えっ、なに教えるの？」

テーマを考え、年間のクラブ活動計画を企画させてもらいました。非常に有意義な経験をさせていただき、楽しむことができました。私は、歴史が好きではありませんが、クラブ活動を通して歴史に興味を持てるようになりました。今年度のクラブ活動テーマである「愛知の郷土史から学ぶ」をメンバーで進めていきます。皆様の協力に感謝します。

見て聞いて知ろう社会研究クラブに

社会研究クラブ 安藤 保

41期生24名を新たな仲間として迎え、総勢45名の新生社会研究クラブが始動しました。

クラブの運営要領によると「各種公共施設・企業等を見学し、見聞を広めると共に、社会問題等を研究することを目的とする」とあります。「研究」はしませんが……多様な見学先を訪問し、現地で詳しい人からお話を聞くことで、学びを深めることを心がけています。一緒にこんな社会研究クラブを目指したいと思っています。

●みんなが笑顔で気持ちよく活動できる

●お互い無理なく、フォローしあって、それぞれが楽しめる

●見学先にも、クラブ員同士も感謝し感謝さ



40期 美術専攻 荒川 相子

れながら活動できる

●活動テーマに沿って、学びと感動を深める
「見て聞いて知ろう 名古屋の歴史と文化」

神社仏閣・仏像等を訪ねて

重要文化財研究クラブ 葛山 由博

重要文化財研究クラブでは、奈良県の室生寺と長谷寺を訪ねる郊外バス研修を実施しました。今年度入学した41期生にとつては初めての郊外バスによる1日研修でした。

午前中に訪れた室生寺では、豊かな自然に囲まれた境内をガイドさんの案内に従って班ごとに歩き、国宝や重要文化財の建造物・仏像を見学・説明を受けました。特に五重塔や金堂では、その歴史的価値や美しさに触れ、1年生の方も熱心に説明に耳を傾けていました。午後からは長谷寺を訪れ、本堂へ続く長い登廊を登りながら、古刹ならではの荘厳な雰囲気を感じました。本尊十一面観音菩薩立像の大きさや存在感に感銘を受け、歴史と文化への理解を深める貴重な機会となったと思います。

新たに参加した41期生からは、「教室で学ぶだけでは分からない文化財の魅力を実際に感じる事ができた」「クラブの仲間として

の交流もでき、とても有意義な一日だった」といった声を頂きました。今回の郊外バス1日研修は、文化財への理解を深めるだけでなく、会員相互の親睦を図る良い機会ともなりました。今後も更に歴史や文化財への学びを深めていきたいと思っています。

入学して一年後の今思うこと

大人の社会見学クラブ 吉安 ひで子

A1に高齢者が幸せに暮らすには？と聞いてみました。すると答えは、

- ①「適度な繋がり」と「社会的孤立の防止」
- ②「自立」と「頼る力」のバランス
- ③老年的超越を意識する
- ④動ける体を維持する

年齢別では、70・80代の幸福度が最も高いという結果も出ていました。これは、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」によるものですから、信頼できるデータだと言えるでしょう。この事実には「歳を重ねるのも悪くない」と、私に安心感を与えてくれました。去年私は、念願の鯉城学園に入学し、クラブは、大人の社会見学に入ることができました。活動テーマは「学び、楽しむ」です。

皆と過ごしたバス研修、学外活動、文化祭

のパネル作成では、話し合いながら楽しいコミュニケーションの場になりました。このクラブで仲間と出会えたことは、とても大きな喜びです。高齢者が幸せに暮らせる条件へ一歩近づいたように感じています。

「きょういく」「きょうよう」聞き慣れた言葉に励まされ、私は今日も背を伸ばし、元気に学園に向かいます。

夕景に映えるペレーの木

写真クラブ 佐藤 建二

緑区の大高緑地公園に、今SNSで話題となっているフォトスポット「ペレーの木」があります。小高い丘の上に立つ一本の大きな楠で、夕暮れ時にはシルエツトとなり、幻想的な風景を見せてくれると評判です。そこで写真クラブでも撮影会で訪れてみました。

現地に到着した第一印象は、「思ったより小さいかな？」というものでした。しかし、日が西へ傾くにつれ景色は一変します。空が茜色に染まり始めると、木の姿が美しいシルエツトとなって浮かび上がり、まるで映画のワンシーンのような光景が広がりました。

撮影では木の下でポーズを取ったり、ジャンプしたりと、それぞれが自由な発想で楽し

みました。最後はクラブ員全員で手をつなぎ、

空へ向かって腕を伸ばした記念写真を撮影。気が付けば皆が童心に返り、笑顔あふれるひとときとなりました。

写真はもちろんですが、仲間と過ごす時間の楽しさを改めて感じた撮影会でした。皆様もぜひ一度、「ペレーの木」を訪ねてみてはいかがでしょうか。

水墨画を学んで

水墨画クラブ 40期生一同

私達は皆が水墨画を習うのは初めてで、先生の筆さばきに見とれど筆を動かすか戸惑い一年間習いました。先生より、

「墨の濃淡だけで色彩を感じる事が出来るのが水墨画の世界です。ゆったりとした心で墨を磨れば、その香りに満たされ、優美な気持ちに包まれます。描く事を通して優しさや寂しさなどの心情を表現していくことを大切にします。絵心がなくても大丈夫です。楽しみましょう！」

と教えを頂き、授業は楽しく習う事が出来ました。私達2年生の思いを書き記します。
*濃淡の墨の奥深さに魅せられる今日…新井
*新しい事にチャレンジ！水墨画に…加藤

*心やすまるひととき世界の水墨画 …門堀

*墨の香に包まれ無心で筆を運ぶ …後藤

*墨の香に浸る静かな無の楽しい時…祖父江

*墨の濃淡に広がる無限の世界を満喫…玉田

*手本大作手順香舟いっか個性作品を…東田

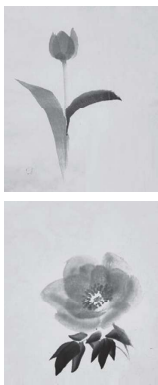
*一心に墨磨り筆運ぶ静寂の水墨画 …北條

*日本人の心を表現する究極の世界 …間瀬

*墨の濃淡で表す世界

…矢田

最終年日々大切に水墨画を心ゆくまで楽しみます。



水彩画クラブの仲間たちと

水彩画クラブ 蘭田 圭子

今年度は41期生20名が入部し、初日の授業からとても賑やかな雰囲気包まれました。二年生19名は運営側となり、意欲と不安が入り混じる中でも、お互いに協力しながらより強い連帯が生まれている気がしています。

今年の新一年生の中には、水彩画を初めて経験される方もいます。「絵を描くことが長

年の夢だったし、新品の絵具を買った事が嬉しい」というお話を聞いて、私も白いパレットに初めて絵の具を並べた時の高揚感を思い出しました。この新鮮な気持ちを持ち続けて頂き、絵を描く事の楽しさを一緒に分かち合って行きたいと強く思っています。

自分を振り返ってみると、うまく絵が描けずと思うように筆が進まないこともありましたが、先生に丁寧に指導して頂き、仲間にも支えてもらう事で、気を取り直して楽しくクラブ活動を続けてきました。

1年間一緒に頑張ってきた二年生の皆さんとのご縁、今回入部頂いた皆さんとのご縁、これからスケッチで訪れる新鮮な景色との出会い、いずれも「二期一会」の光り輝く一瞬の連続です。

この輝きと喜びを絶やさず、これからの1年を仲間の皆さんと一緒に歩んで行きたいと切に願っています。

多文化を楽しく学ぶクラブ活動

国際文化研究クラブ 金原 和弘

私が勤めた第二の職場は学校法人で、系列の専門学校には多くの留学生が学んでいます。東南アジアからの留学生が始めて、多く

は戦後急速に復興した日本に「憧れ」を抱き留学した、と語っていました。また、少数ですが東欧からの留学生は、アニメや漫画から日本の文化に興味を持ち、留学したとのことでした。これら日本の経済発展や文化に憧れを抱き来日した留学生の多くは、日本での就職を望んでいると話します。

以前、日本での就職は特別な資格が必要で、ハードルが高いものでしたが、労働人口の減少に備え「特定技能」制度が新設され、外国人の就労機会が大幅に増えました。

皆さんも、街中で外国の人々に接する機会が多くなったと感じていると思います。我々の身近である名古屋でも、憧れと希望を抱き来日した私の知っている留学生や労働力の担い手として来日した外国人が、数多く住んでいます。

このような環境の変化に伴い、多文化共生社会への意識が叫ばれています。

様々な国の文化、生活習慣などを、その国の出身者から直接聴くことが出来る我がクラブ活動は、多文化共生に向け非常に有意義な学びではないでしょうか。



40期 国際専攻B 藺田 圭子

やさしい 古文書

やさしい古文書クラブ 高橋 淑子

古文書を選んだ動機は、幼少の頃より文字を読みたい。絵本を理解したいとの欲求があったからです。戦後、再開された幼稚園に二年間、工具で怪我をさせない為に通園しました。月に一回キンダーブックを持ち帰り園で先生の読み上げた言葉を思いだし、平仮名を一字一字習得しました。

徳川美術館の絵巻物、読めたら良いな。江戸時代の治政が、わかれば楽しいのと思い

来の有人宇宙船「オリオン」による、「アルテミス計画」実行に、世界中、日本中が沸いた。ケネディ宇宙センターから、大型ロケットで打ち上がり、約三時間半後に分離され月へ向った。月の裏側などを観察し太平洋に着水帰還した。28年以降、月面着陸、拠点作りをめざしている。中国も追っている。順調に行けば、長生きすれば、人類が月面に立ち基地ができ、観光ツアーもできるでしょう。

鯨城学園の近くに、世界最大級のフジスカイドームプラネタリウムがある。迫力ある宇宙体験が今すぐできる。この夢の中が現実となる日が近づいている。なんだか、ますます月が身近に感じませんか？

初級。パソコン学習希望者とクラブ

パソコンクラブ 成本 栄基

パソコンクラブは、初心者を応援します。クラブは大半が初心者です。最初に、電源の入れ方、日本語入力、教材データのダウンロード等を行います。そんな初心者応援のクラブですが、パソコン学習希望の初級者には、狭き門のようです。入部機会が、入学時と2月の第1転部・第2入部申請の時だけです。2年生は機会無し。クラブは、初心者歓迎・期間

途中入部不可なのです(募集の特記事項)。初心者の初期の問題を解決する処置の一つですが、入部機会を少なくしています。

それで、今年の試みとして、夏休み前と冬休み前の転部・第2入部申請時に、募集をかけてみることにします。講師及び全体の支障にならず、入部希望者にこたえるために。それには、面談で、初級者レベルの確認が必要になります。軽量ノートパソコンを持っているか。ウィンドウズ11、ワード、エクセル、パワーポイントが入っているか。ネットでテキストの購入ができるか。「やっぱり、無理」を無くそう。期間途中入部者の初期のギャップ(学習についていけない)を無くそう。さて、どうなるでしょうか。分かりません。

パソコン学習希望者の皆さん。挑戦する気持ちで、クラブで学習を始めてみませんか。

頭はいつも「あゝうてゝうて」

歩いて知ろう会クラブ 伊藤 きよ江

あんなに人任せな私が、まさかの代表？ルンルン気分で鼻歌を歌うお気楽者で、いい加減だった昨年の自分を、今は猛反省。天手古舞の説明会、お笑い好きの血が騒ぎ、すっかり舞台上で爪痕を残せたと胸を張る。

参加しています。

現在の様に書き方に決まりのない時代に、毛筆で個人の方法で通用していた書物、個性豊かな文字が通用していた事に驚き一杯で毎回資料を見えています。

色々、様々な出会いがあり上位は戦国大名から下位は農地管理者まで、読み・書き、そろばんを習得していたのですね。

その文書を独りでは読み解けませんのでグループを作り頭を寄せ合って読み解いています。楽しい作業です。時代背景が判り、どんな治政であったのか知る事ができます。

校外学習も年に三回有り六月末に西尾市を訪ねました。学芸員さんの説明・指導を受けて楽しい一日を送りました。

歴史好きの私にも知識を豊富にする事が出来て元氣一杯で今後の文化祭に向かっています。たいと思える事が幸でした。

月

天文・気象クラブ 杉田 京子

昔、幼い頃には、夜になると空を見上げ、月の中のうさぎを見る。月にはうさぎが似合う。その裏側には何が住んでるかしら……。それが二〇二六年四月一日、アポロ17号以

労を重ねた見学会、無事終了かと安心し、うっかり油断したその先に想定外の質問が。「歩いて知ろう会と他クラブの違いは？」類似する見学場所、詰め問の甘さを否めず。「いや、活動日の違いでしょうか……」と、てんやわんやの中、答えた私。そして、絞り出したその後の言葉に、見えた本質。ろくでもない考えを捨て、気づいた核心。有縁の仲間たち、その人柄を「知ろう」。ありのままの姿を、深く「知ろう」。類を見ない縁で集まった、最高の一期一会。一緒に笑い、時に悩み、心を通わせていく。手探りだけど、代表として走り出そう！信頼を深め合い、さらに素敵なクラブへ。路上で笑顔の輪を広げていけるように……。動き出した私の挑戦は、始まったばかりだ。

失敗が成功

陶芸クラブ 櫛笥 淑子

陶芸クラブに入ってから1年が経ちました。先輩、仲間にも恵まれ陶芸の楽しさを今、実感しています。念願の轆轤の使い方もひとり先生方に教えて頂き、轆轤での作品も何個か出来上がり、素焼き、施釉、本焼きと進み完成となります。

施釉では、自分で模様とか色とか、計画を立てて 釉薬をかけてゆくのですが、ここでよく失敗してしまい、落ち込んでしまうのですが、本焼きが終わって完成品をもらいに行くのと失敗して不安だった作品が、何故か不思議なのですが、芸術作品に出来上がっているではありませんか！

重ねる釉薬の不思議に乾杯！仲間たち、先生方、これからもよろしくお願いします。

書道クラブへ入学して学んだこと

書道クラブ 草田 初子

今期新たに16名の方に入部頂き、総勢30名で浅田講師の御指導等で5月20日から活動をスタートしました。私は、小学生以来筆や墨をもったことがありません。私は、まず、基礎・基本を反復しこつこつとひたすらお手本を見て、一文字を書きます。書道の効用は、集中力・忍耐力・姿勢が正しくなり、そして字が上手になるということを実感しました。六月にロビー展があります。わずか一文字を書きあげるのに、二カ月間毎日練習しました。筆をもったことのない私がロビー展の展示会に書道部の皆さんの中にも私も展示できました。私の作品を見てよくここまで書けたと、

感慨深げに眺めました。一生の宝です。書道の仲間も穏やかで、お互いに切磋琢磨しながら励んでおります。書道を習い、年を重ねて、楽しい学園生活を過ごしていきたいと思っています。

たのしく笑ってたのしく詠んで

たのしい短歌クラブ 中村 京子

私たちは40期、41期を合わせて総勢たった15名のクラブです。講師の先生の添削指導の都合上15名しか入部することができません。そんな選ばれた精鋭のみなさんと最初の吟行会を6月2日白川公園で開催しました。

あいにくの雨の中、真剣に公園を周り五感を研ぎ澄まし頭を捻り、言葉紡ぎ作った歌を紹介したいと思います。

- ・汽車語る目に少年の熱残し車体を「彼」とスタツフは呼ぶ
- ・小雨降る白川バーク散策し奇抜なアートの一瞬たじろぐ
- ・六月の雨のそば降る公園で一年の不運土に還さむ
- ・新緑にブラネタリウムの銀映えて宇宙の夢を秘めるが如く
- ・ブロンズ像金の翼の前に立ち羽ばたけるのか空を見上げる

・五月雨や白川公園緑牙え相合傘が怪しく揺れる

全員の歌を紹介することができなくて残念です。同じ景色をみてもそれぞれの感性の光る個性ある歌が詠まれていて短歌の世界の懐の深さを再確認いたしました。

これから一年みんなでいっしょに短歌を詠み鑑賞する時間を楽しんでいきたいと思っています。

健康に暮らす

健康クラブ 深澤 早苗

1年前、日々の生活で自分の健康は自分で守らなければならない思いで健康クラブに入部、活動初日からいきなりダンス、硬い体をほぐしながら踊ったことを思い出しました。今年も40名でスタート。足心ヨーガとリズム&ストレッチ体操を交互に練習、足心ヨーガは足と脚・手と腕のマッサージで全身を温め関節をほぐしポーズに入り、呼吸法で乱れた呼吸を整え、最後に瞑想に入り心にやすらぎをもたらしめます。ストレッチ体操は椅子に座って全身をさすったり、ほぐすことで硬い体を緩めます。足心ヨーガ・ストレッチ体操も全身マッサージすることで、筋肉も作れリンパの流れが良くなる。リズムダンスは音楽

に乗ってステップと全身を動かしながら楽しく踊ります。足心ヨーガ、ストレッチ体操の練習中いつも優しい先生は体の変調を感じたら無理しない、頑張らなくても良いと言われるますから部員は気分的にリラックスして練習ができ、とても楽しいクラブ。

体の事を気にかけるようになる年齢になり、毎日元気に過ごすには先生から指導を受けた足心ヨーガ・ストレッチ体操をクラブの無い日でも行ない、規則正しい食事（1日3食）、質の良い睡眠が必要、最後はなるべく薬に頼らない自立した生活を目標にしたい!!

非日常の世界へ

社交ダンスクラブ 匿名希望

私が社交ダンスクラブに入部するきっかけは全くの偶然でした。文化祭で自分のクラスの舞台演目が始まる前に待機時間があつたので、時間つぶしにほかのクラスやクラブの舞台演目を見ていたところ、その中に社交ダンスの演技がありました。

社交ダンスというものは、せいぜい映画のスクリーンで見ることばあっても、自分の間近で見ることはないと思っていましたし、全く興味もなかったので漫然とした気持ちで見

ていたのですが、クラブ員の方々の華麗な踊りに目を奪われました。

自分もあんな風に踊ってみたいという気持ちが強くなり、11月に思い切つて転部をしました。

入部して日が浅かったのですが、12月にクリスマスダンスパーティが主催され、シャンデリアの下で下手ながら踊るという経験はまさに非日常の体験でした。

社交ダンスクラブは男性が少ないのが悩みです。ぜひ男性の入部をお待ちしています。

囲碁とAI

楽しい脳トレ囲碁クラブ 森永 靖彦

囲碁には4000年の歴史があるが、近時AIが囲碁に大きな変化をもたらしている。チェスでAIが人間に勝つたのが1997年、将棋では2013年だが、囲碁では時間がかかり、一時、AIは人間に永久に勝てないのではないかと言われたが、2016年にグーグルが、面子をかけてAI (Alpha Go) を開発し人間に勝った。

最近のAIの進化はすさまじく、現在高性能のAIはトップ棋士をはるかに上回る実力を持つ。世界中の棋士がAIのデータベース

にアクセスし研鑽するようになり、従来の定石や布石の常識が変わりつつある。

AIが特に強いのは、候補手の選択やその勝率のシミュレーション機能である。他方、人間は、大局観、勝負勘、先を読む力、新しい戦略的発想、対戦相手との心理戦などの領域に強く、自分で物事を考え、創造することの重要性がさらに高まっている。また、こうした思考や創造は、特に右脳を刺激し判断力を高め、ストレスを解消する効果がある。

昨年11月、プロ棋士とAIが組んでペア碁を行い、対局中の思考メカニズムの解明や人間と協調するAIを開発する研究プロジェクトを、日本ペア碁協会が立ち上げた。進化を続ける楽しい脳トレ囲碁の世界へようこそ！



40期 美術専攻 松月 宏子

ECCに入って経験した事

英会話クラブ 海田 剛

今まで英会話に関するクラブに入った事はなかったで、何をやるのか興味津々でした。入る前は、「トランプ政権をどう思うか?」と言った政治経済等のテーマをECC内でフリーディスカッションする様なイメージを持っていました。

実際は文化祭の英語劇の練習が70%以上で、入った当初はどうしたものかと思いましたが。昨年度は出し物でサウンドオブミュージックを行いました。ナレーターか照明係を希望していましたが、なぜかトランプ大佐という大役を任せられました。劇の経験はないし、セリフは英語。歌も歌わなければならぬ。その後の劇の練習ではカナダ人の先生に演技でダメ出しだらけ。例えば、大佐なのだからもっと偉そうな態度をしろ!等々。

クラスの劇では役で土下座していたので、頭を切り替えるのは非常に難しかったですが。しかし、甲斐あって本番では何とかなりました。非常に良い経験をしたと思います。

日本では英語を話す機会がほとんどありません。今年度は劇以外でも楽しく英語を使え

る環境を作りたいと考え、自分の海外生活体験をヒントにしたストーリーを作ってロールプレイをする取り組みを始めました。

コーラスクラブの替え歌

コーラスクラブ 関山 勝之

昨年度コーラスクラブに入り、コーラス経験はほとんどなく、楽譜も読めなく、音を聴いて覚えるしかない状態でした。そこで練習を録音して覚ええました。

先生の指導は楽しい話題がいっぱいで、いつも笑いに包まれます。繰り返しの指導もあるが、最後はオチで笑わせてくれます。録音を何度も聴くうちに「笑顔で明るい声」「心を込めて優しく」「声のトーンを合わせる」などを学びました。それを、「柴田先生の教訓」として、原曲「明日があるさ」坂本九に歌詞を乗せました。

1、微笑みながら歌いなさい。虎屋のようかん突っ込みなさい。口の奥を口の奥を3センチ上げなさい。2、楽譜を見ないで私を見る。100回歌って覚えなさい。一つ覚えて二つ忘れる。ドキドキの私たち。3、熱い歌が大好きで。少々変ちよこりになったとしても。心を込めて歌って欲しい。柴田先生の

教えです。

6月の新入クラブ員の歓迎会用に歌詞を改定し楽譜を作り、40期のみんなで練習と点検をしました。替え歌づくりに熱中し、課題曲の練習が少し遅れてしまったのは反省点です。

ある山行の1日

ハイキングクラブ 森久 満夫

木々の緑が映える季節、ハイキングのベストシーズンが到来した。我々40期は2年目を迎え、新入生が入部する前に、40期だけで鈴鹿の藤原岳登山を計画した。当日登山口までの道のりで、低山と異なりそそり立つ山容を見て「これを登るの?」との声が何度も出た。それもそのはず、この藤原岳はハイキングクラブで経験した事のない標高1144mの山で、一年間の山行で得た経験と体力を試す為の計画である。いざ歩き始めると急斜面の長い登りは厳しく、2分休憩を繰り返して「もう少し、もう少し」と励まし合い、花の百名山に相応しく咲く花々に癒められつつ、なんとか全員が登頂した。山頂に立った思いを尋ねると「めっちゃ嬉しい」と聞き、この計画を立てた私はこれで良かったと安堵した。下山では足を滑らせる人、足がつる人が多数出始

め、その場面で「これをよく登ったね」と感慨に耽る声が頻りに聞こえた。この様な皆の状態を見て慎重に下山を始め計画より遅れること2時間、山の中が薄暗くなった事を心配しながら下山を続け、全員無事に最寄り駅に到着出来た。全員が経験を超える藤原岳に登った充実感に浸り感動を覚えつつ名古屋への帰路に着いた。

太極拳の旅

太極拳クラブ 加藤 恵七子

「十字手(シーズーショウ)」「起勢(チーシー)」の掛け声のから十五分の太極拳の旅が始まります。静かな曲に合わせて、皆で二十四の途中駅(二十四式)を経てゴールへ向かって演舞します。

呼吸に合わせて、ゆっくり演舞できれば良い旅なのですが、私にとっては試練の旅です。どこをどうやって進んで行けばよいかわからず迷子になってしまうのです。先生の美しい動きを目で必死に追うのですが、自分の体で表すことができます。途中下車したくなることしばしばあります。

そんなとき旅仲間である先輩や同期からの、優しい言葉やアドバイスをもらったたり、

先生からの丁寧なご指導をさせていただいたりして、旅を続けることができました。一人旅では味わえない喜びです。そして、文化祭の舞台発表で、皆と心と呼吸を合わせて演舞できた時の達成感と団結力の強さを感じられたことは旅の醍醐味でした。これからも我がクラブの「比べない 競わない」の合言葉のもと、新しい旅仲間(四十一期生)とともに、美しく力強い太極拳の旅を続けていきたいです。

自分と向き合うひととき

初歩からの将棋クラブ 泉 由美子

今や藤井聡太六冠の名前は皆さんご存知かと思います。

棋士の方からは教えられることがたくさんあります。

77歳まで勝利を積み重ね、今年亡くなられた加藤一二三さんは「どんな時も柔和でありたい」と思われていたそうです。

どんな事があっても「怒って自分のバランスを失わない」ということを心がけていらっしやいました。

これは「いつも幸せでいよう」という motto で生きてきた私の心に響いてきました。



40期 陶芸専攻 角 英司

史跡散策クラブにどつぷりと

史跡散策クラブ 片浦 誠司

史跡散策クラブに入って1年以上経ちました。まあ、何とクラブの中心となつて働くポジションにいることに驚きます。一言で言つてしまえば、どつぷりと浸かつてしまい毎週忙しいです。

クラブ発表会、見学会の準備が大変でした、また校内学習用の講師との打ち合わせ、校外学習用の下見（クラブの代表も下見に加わります）、校外学習はもう、ほとんど観光バスツアーの添乗員のようなもの、これが毎週なのでやはり疲れます。正直一度ゆつくりとランチしたい……と何度も思いました。（実際、電車やバスの時間やガイドさんと待ち合わせなどで時間に追われる）基本的に如何にクラブのメンバーに楽しんでクラブに来てもらうか？を考えて運営していることは間違いないです。堅苦しい雰囲気やしらけた感じではダメで、特に41期の人たちにクラブ内で、親しい仲間を作ってもらえれば嬉しく思います。そのため、楽しい雰囲気が我々、40期メンバーや役員の仕事と心得てやっています。（本当です）その点39期の先輩たちは良

くやっていたなあ」と感心するばかりです。「41期の人、早く代わつて」と叫びたいかな……。

心に太陽をくちびるに歌を

フォークソングクラブ 田原 静代

私は再入学でフォークソングクラブに在籍しています。歌は好きですが上手ではありません。歌うことは誤嚥性肺炎や認知症予防にも良い為入部しました。毎週火曜午前中キーボードとギターの両先生の生伴奏で歌います。今月の課題曲はNHKテレビ朝ドラ主題歌ミセスグリーンアップルの「風と町」を繰り返し練習しますが音程が難しく歌詞も中々覚えられません。先生からはこの曲が歌える様になったら子供や孫達にも自慢できるからと励まされて頑張っています。その次には歌集の中からリクエスト曲を選んで班毎にみんなの前で歌います。六十代から八十代までの人がいるのの中には歌えない曲もあります。フォークソング、ポップス、演歌何でも歌います。コロナ禍前は老人ホームにボランティアで行ったそうです。フラダンスクラブの人と慰問に行きリクエスト曲を募ったら「高原列車は行く」が人気曲だったそうです。現在

れば用事は済んでしまいます。でも、たどたどしい絵でも、拙い言葉でも、心を込めて描いた一枚を親しい人へ届ける喜びは、デジタルでは味わえない温度があります。

大作を描く必要はありません。身近にある季節の気配や、小さな発見を、気軽に筆にのせてみませんか。たくさん仲間と一緒に、ほっと笑顔になれる時間を過ごせるのが、なごやか絵手紙クラブです。

今年は「やくどし」？

健康ウォーククラブ 日比野 ふみ子

私の人生の中で、これほどまでに、役員と名の付く役目は、巡ってはきていませんでした。町内会、マンション理事会、鯉城会、修学旅行委員会、クラブ代表などです。

今までは先人の背中を見ながら過ごしてきたので、のんびり、ほんわかと活動してきました。それが急に平社員から部長か社長になったような気分でした。

健康ウォーククラブは、市内をゆっくり歩いて、新しい場所や古くから残っている場所などを見つめながら、コース作りしています。でも全てが天気が左右するクラブなので天に晴れますようにと祈るようになりました。こ

れもクラブ代表の仕事？ですよ。

見慣れた場所でも、行く季節、時間帯、一緒に行く仲間、それぞれが違ふと景色も違って見えるんです。集合場所から始まるコースは、1時間半から2時間ほどかけて歩いて解散場所までを楽しみます。わいわいにぎやかに会話しながら、たまには、その土地や名所の、うんちくを語ってくれる人もいて、すごくおもしろいです。

3月まで、いろんな行事を取り入れながら、楽しくウォークしたいです。それと「やくどし」も無事に過ごしたいです。

鯉城学園と

マジッククラブからの贈り物

マジッククラブ 犬飼 容子

入学時にクラブへの入部が必須と聞き、悩んでマジッククラブを選びました。

これといった特技がないので、ひとつでも特技が欲しいなと思つて選びました。

入部後はついていくのに必死でしたが、講師の方々や2年生の親切な指導のもとマジックの魅力に少しずつはまっていきました。次はボランティア活動での演技が待っていました。人前でなんてとても無理と思つてい

は入居者も世代が代わりリクエスト曲も変わっていると思われれます。以前の様にまたボランティアを再開できたかなと思います。クラブのモットーは「明るく笑顔で歌おう」です。秋の文化祭に向け全員で練習し盛り上げたいと思います。

ヘタでいい ヘタがいい

でも心を込めて

なごやか絵手紙クラブ 岡田 武司

絵もヘタ、文章も苦手、そして絵手紙の経験もまったくなかった私。最初は不安だらけでしたが、同じビーマンを題材にしても、描く人によつて形も色も、葉もまったく違うことに驚きました。上手い下手ではなく、その違いこそが絵手紙の面白さであり、不思議と心が軽くなる楽しさでした。

作品発表は、正直なところシャイな私には少しハードルが高かったのですが、先生や皆さんからの温かいコメントに触れるたび、胸の奥がふつと明るくなるような嬉しさがありました。自分では知らなかった草花や果物、野菜に出会えるのも新鮮で、季節の移ろいを手のひらで感じるような体験です。

今の時代、メールやLINEをポチっと送

ました。

最初のデイサービスでの演技はほんの1分弱の演技でも心臓バクバクでしたが、ボランティア活動のデイサービスでの演技、文化祭の舞台を重ねていくうちに、ドキドキもいい意味の緊張感と変わっていきました。

デイサービスの人生の先輩方の笑顔を励まし、新しい仲間との出会い、交流も深まり、マジックを楽しんでいます。

2年生が引退後、代表を引き上げることとなり、「前の代表が立派すぎて、私で大丈夫？自信ないなあ」と内心思いながらも、仲間の協力のもと一歩ずつ進んでいます。

文化祭の舞台に向けてもうひと頑張り。

新しいステージを与えてくれた鯉城学園とマジッククラブに乾杯！

笑顔で踊ろう

フラダンスクラブ 諸戸 佳代子

「人生は一度きり、まだまだ体験していない事だらけだ！」

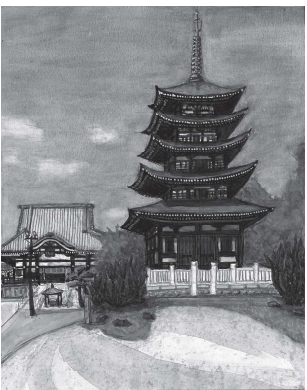
鯉城に入学しクラブを選ぶ際、少し華やかな世界に挑戦しようフラダンスを選んだ。ハワイアン音楽に合わせてゆつたりと楽しく踊ればいいのだろうと、気楽に考えていた。

いざレッスンが始まると、現実とは甘くない、常に膝を3センチ以上曲げて腰を落とす基本姿勢の苦行ステッブに翌朝、ガクガク筋肉痛。さらに手の動き（ハンドモーション）や目線の動きも加わり、脳内はパニック。筋トレと脳トレを同時に進行する過酷な状況の中、追い打ちをかけるように「はい、笑顔で」と講師の明るい声が響く。

私にはムリかもーと悩みながらも、文化祭、クリスマスパーティー、大舞台での発表会を乗り切るうちに一年が過ぎていった。

最近ようやく「楽しいかもー」と感じるようになってきました。

まだスムーズには踊れず、引きつった笑顔ですが、何よりもステキな仲間と過ごせる、この時間が大好きです。



41期 園芸専攻 木谷 隆夫

思い出と共に一生の宝物になります。旅行から帰った後も、写真を見返したり思い出話に花を咲かせたりすることで、楽しかった時間を何度も味わうことができます。ぜひ、旅行好きの仲間と行きたい場所へ足を運び、人生をさらに豊かなものにしていきましょう。

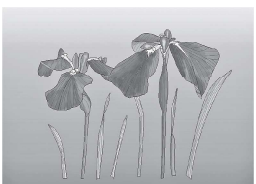
一歩踏み出して見つけた、

新しい学び

パソコンペイントクラブ 早川 良子

パソコンペイントクラブに入学して間もない私ですが最初は「絵も芸術も無縁の私にできるのだろうか」と不安を抱えていました。

ところが実際に始めてみると、マウスひとつで色を重ね形を作っていく作業は思った以上に簡単で、気づけば自分でも驚くような一枚が描けていました。



先生方はとても親切で、わからないところは丁寧に教えてくださいます。仲間と相談しながら仕上げていく時間も心地よく、毎週の活動が楽しみになっています。

苦尽甘来（くじんかんらい）

オカリナクラブ 瀧谷 宣秀

宗次郎の「コンドルは飛んでいく」の音色に感銘を受け、オカリナで吹ければとの思いからオカリナクラブに入ります。まず驚いたのは、最初の指ならしがゴルフボールだったことです。両手に二つずつ持つて内回し・外回しをするのですが、指より先に頭がクルクル回ってしまいました。

続いての練習は呼吸法。四つで吸い、四つ止め、八つで吐いてお腹をへこませるはずが、思うようにいかず、なぜかお腹の脂肪の存在を実感するばかりでした。

ようやくオカリナを手にしても、ドレミの音階演奏で気持ちが先走り、時々ずれた音が出てしまいます。

さらに練習場所では、ご近所への音漏れも気になります。いちばん気にしているのは実は家内にもかもしれません。

それでも続けているうちに、手指の運動や腹式呼吸のおかげで脳や体も元氣になり、肺活量も昨年より増えて人間ドックでもほめられました。

最初は不安と苦戦の連続でしたが、クラブ

初めて自分の作品を文化祭や市民ギャラリー展に展示して頂けることになり、照れくさい気持ちもありますが、それ以上にうれしさが大きく「次はもっと美しい景色や創作にも挑戦してみたい」という意欲が湧いています。初心者でも安心して始められるクラブです。部員はまだ少ないので、一緒に楽しんでもくれる仲間が増えたらうれしいです。

この楽しさをもっと多くの方に知って欲しいと思っています。

エッセイ

言葉を楽しみながら。

四十期 国際専攻B 大畑 仁志

半世紀前の深夜二時。

笑福亭鶴光の「オールナイトニッポン」。

ラジオの雑音の中から、毒舌が弾けていた。夜明けの吉野家で中島みゆきが「オオカミになりたい」と吠え、サザンオールスターズが胸騒ぎの腰つきで「今何時？」と迫る。言葉の衝撃は、すぐ隣に転がっていた。東京のビジネスマン時代。

仲間とのコミュニケーション等で少し音が出ると楽しくなり、今ではいろいろな曲に挑戦したいなと感じつつ、クラブ続けて良かったと思うこの頃です。

さあ どこに行こう！

旅行クラブ 三神 英生

旅行は人生を豊かにしてくれる素晴らしい趣味です。

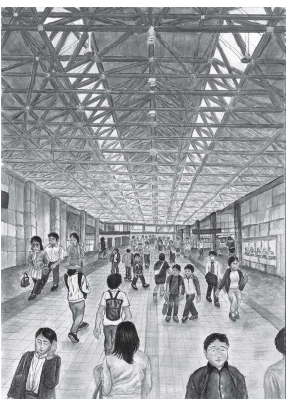
新しい景色や人との出会いは、心に新鮮な刺激を与え、毎日の生活に楽しみを増やしてくれます。体が動くうち、歩けるうち、氣力のあるうちに、ぜひ積極的に旅へ出かけましょう。年齢を重ねると、「いつか行こう」と思っていた場所が、体力や健康の問題で遠く感じられることがあります。旅行の楽しみ方は人それぞれです。名所を巡るのもよし、美味しいものを味わうのもよし、温泉でゆっくり過ごすのも良しです。大切なのは、自分のペースで無理なく楽しむことです。また、旅行の計画を立てる時間も大きな楽しみの一つです。行き先を調べたり、名物料理や観光地を探したりすることで、出発前からわくわくした気持ちになります。気の合った仲間と計画した旅行は、旅先で見た景色や体験した

ユーミンのようにはいかなかった。

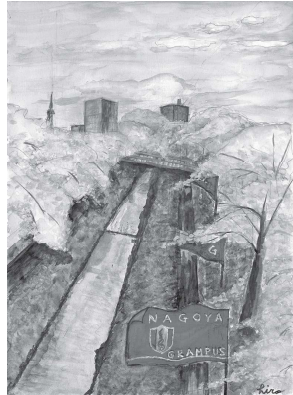
「中央フリーウェイ」を流しても、片手でハンドルを握り、誰かの肩を抱く余裕などない。車の群れ、スピード。手は白く強張っていた。長い旅路を歩き、今、私は鯉城学園で学ぶ。フォークソングクラブとたのしい短歌クラブに入って一年が過ぎた。

散歩に出る。アスファルトの隙間の草。光る水滴。ちぎれていく雲。風が肌をなで、体が反応する。足が止まると、忘れないようにスマホへ言葉を落とす。万葉から続く三十一文字の台座に、生身の今を置く。

フォークソングクラブの時間。仲間と声を合わせ歌うのは竹内まりやの「人生の扉だ。『デニム』の青が褪せてゆくほど、味わい増すように」今の自分にしか見えない景色がある。さあ、楽しみはこれからだ。



40期 美術専攻 水野 正



41期 歴史と文化専攻B 長谷川 裕子

鯨城学園入学式に想ったこと

四十二期 陶芸専攻 加藤 章

入学式は青空のもと挙行され、思い出深いものとなりました。学園のあるライフプラザ前の白川公園には上空を大きく覆うように、新緑の櫟並木が見えます。南西部にはイチョウ並木があります。こちらも若葉です。いつも見慣れた公園ですが、入学式を前に、ふと思いついたことがあります。それは、終戦後焼野原になり、復興の道すがら、この大きな広場には進駐軍の将校ハウスが、建並んでいたことでした。真っ白なペンキ塗りの平屋建ての家々とそこにあつた白いブランコと庭には老舗のゴルフ場のような芝生が張つて

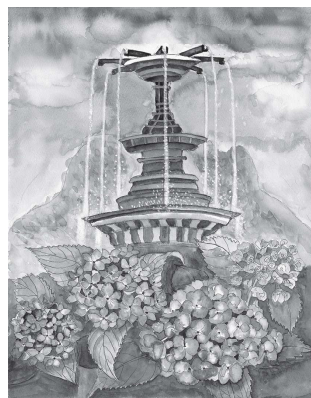
ありました。私の人生の始まりと円熟した現在が時代交差する瞬間に放たれる眩いばかりの櫟の若葉と当時の深緑色の芝生の競演が脳裏に浮かぶようでした。私が真白な建物を見てから70年余りが経過したことになります。地域力が失われている、といわれる昨今です。私はここで学ぶ二年間の後は再度、地域に戻り、ここで得た知識新しい友との出会いと絆を糧に地元貢献していきたい、と考えています。

クラブ存亡の危機（問題提起）

陶芸クラブ 内田 誠之

陶芸クラブは、現在のメンバーが2年生（40期）7名、1年生（41期）1名の合計8名のみです。大変仲も良く、雰囲気も楽しくて良いのですが、問題は来年度です。来年度2年生が1名のみで、1年生の人数如何によつてはクラブが不可能です。実は昨年と同じようなことが発生しかつたのですが、当時の陶芸専攻の2年生で再入学して陶芸クラブに入りたという人が5名もおり、何とか存続できました。最近陶芸専攻の人数もだいぶ定員を下回っており、その点も含めて問題点はいくつかあります。

クラブ自身の問題としては、①費用が高す



40期 美術専攻 澤田 ますみ

短歌・俳句・川柳・詩

短歌

花吹雪散りぬべき時知りし人
ガラシヤしのびそつと花踏む
原爆地しずかに燃ゆる平和の灯
地上むしばむ核消ゆるまで
朝まだきグラデーションの空見上げ
一日の始まり聖書ひもとく
四十期 暮らし専攻 松浦 みち子

金銃城を南へ一里に学園あり
友ら集いて未来を語る
学びあり体育・文化の祭りあり
過ぎ去り日に再び戻る
卒業後もサークル・ボランティア
続けられ元気で暮らせる喜び謳う
四十期 音楽専攻A 服部 信彦

続城なる山の頂き仰ぎ見て
行きつ戻りつ葛藤の日々
ランチ後のおやつの分け合い懐かしや
こうして別れに近づいて行く
砂かけてダッシユ家じゅう駆け回る
お腹が軽くなったのね
四十期 音楽専攻A 星野 みゆき

遠ざかるあの日の景色もう一度
友と歩いたし光と影を
降り注ぐ恵みのしずく満天の
見上げた瞳世界が止まる
あの瞬間の最後の笑顔忘れな
めくった頁永遠に輝く
四十期 音楽専攻B 泉 由美子

俳句

さくらんばねだりし孫の濡れし髪

四十期 美術専攻 荒戸 隆子

半食べておならブーラー踏ん張つて
出ればラッキー仕事も楽で
真っ黄色のオオキンギクは岩の隙間
見事に咲くも外来種駆除と
胎児性水保病患者同世代
新聞の彼はまた我かもと
四十期 美術専攻 安藤 呈奈

育てられ育てあげたらさあ行こう
「わたし」を探す学びの旅へ
今日までの敬老バスも明日からは
手習い嬉しい通学定期
学び舎に集いて語る高年の縁
未来につなぐ希望の線
四十期 美術専攻 鈴木 鈴子

「題名…団塊世代の独り言2」
駅降りて家路に向かう道すがら
そつと寄り道暖簾をくぐる
孫来ればテレビ見られずあきらめて
せめてニュースを見せと頼む
年齢聞かれ答えたもののふと思う
気持ち持たないが傘差問近か
四十期 歴史と文化A専攻 松尾 裕

暑い中早く飲みたし泡の水
喉に沁みるよこのうまさ水
プランタンがめる先は夏野菜
一本だけの曲がったキュウリ
虫食い苺どこに行つたかサナユリ
蝶にふかしていずこに飛んだ
四十二期 歴史と文化専攻 長谷川 裕子

川柳

爪切りの気配で隠れる君何処
舌打ちを気にせずエスカレーター右に立ち
孤独には二つの孤独があるんだよ
四十期 音楽専攻A 星野 みゆき

コラスは口角上げたたら福来たる
歯から目へナントカの順に衰えり
大須よりおもしろき寄席コラス都
四十期 音楽専攻B 犬飼 基

着地は笑顔自分で立てるケアブラン
書き留めた言葉私の救世主
晩学や同窓と四季謳歌する
四十期 美術専攻 荒戸 隆子

太極拳盆踊りに似た我が手振り
蒼ちゃんA・T・Mか孫たちよ
親父ギャグ意味を問われて絶句する
四十一期 健康と福祉専攻B 福原 友明

題「社交ダンス」

男なら誰でもよいと誘われる
その歳でダンスやるのか友笑う
ダンスにはお金出せぬとクギさされ
四十一期 国際専攻B 水谷 嘉之

詩

夏を来り切つて
行く夏も秋立つつも
やさしく受けとめたい
四十期 音楽専攻A 鈴木 早苗

学生協議会

会長 角 英司

副会長 小坂 康夫

総務主任 近藤 泰人

総務 竹内 義人

中野 雄二

前田 英成

会計主任 村中 容子

会計副主任 福村 友明

丸山 裕司

体育委員会

委員長 奥田 希樹

副委員長 山岡 ひろみ

委員 小出 ゆかり

金原 和弘

北原 正文

榊原 政樹

山田 俊行

文化委員会

委員長 安藤 葉子

副委員長 藤田 宏子

委員 棚瀬 和子

浅井 重子

大藪 邦男

小笠原 伴明

クラブ委員会

委員長 大林 太一

副委員長 佐藤 信子

委員 小島 和代

加藤 元章

近藤 和美

美頭 紫雅

文谷 喜之

広報委員会

委員長 牛木 ひとみ

副委員長(兼任) 小坂 康夫

委員 朝日 秀志

後藤 和規

秋江 存枝

鬼頭 庸靖

満田 純子

富岡 令子

社会参加委員会

委員長 高木 保美子

副委員長 石黒 博也

委員 高橋 淑子

二村 正子

沖田 眞弓

金子 重光

小出 千歳

堀江 洋子

山田 眞功

荒井 賢治

佐藤 鮎人

前田 夏美

裏野 広明

服部 信彦

安藤 良三

園芸

陶芸

美術

歴史と文化A

歴史と文化B

暮らし

国際A

健康と福祉A

健康と福祉B

音楽A

音楽B

関 加藤 修一

音楽B

園芸

陶芸

美術

歴史と文化A

歴史と文化B

クラブ代表

郷土史

社会研究

重要文化財研究

大人の社会見学

写真

水墨画

水墨画

水墨画(代理)

水彩画

国際文化研究

やさしい古文書

天文・気象

パソコン

歩いて知ろう会

陶芸

書道(代理)

たのしい短歌

健康

社交ダンス

楽しい脳トレ開幕

英会話

コーラス

ハイキング

太極拳

初歩からの将棋

足跡散策

フオークソング

なごやか絵手紙

健康ウォーク

マジック

市原 雅之

中山 和尊

伊藤 裕康

根尾 文彦

山下 泰孝

加藤 博子

宮崎 基隆

安藤 紀保

絹村 昭雄

早川 健二

北條 貞由

玉田 光雄

蘭田 圭樹

前出 藤樹

高橋 淑子

田賀 泰孝

成本 栄基

伊藤 幸江

内田 誠之

伴野 典一

伊藤 綾子

中村 京子

鈴木 利康

山盛 研三

土屋 剛

海田 剛

岡本 さとみ

松永 勇示

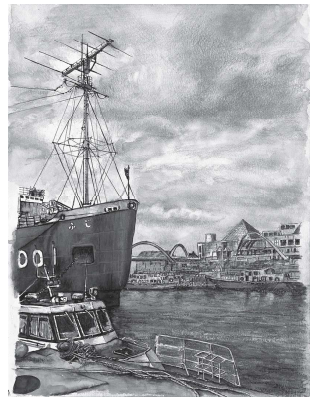
松原 和成

泉 由美子

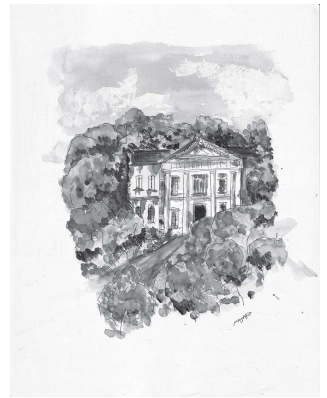
早瀬 誠司

日比野 武司

犬飼 容子



40期 美術専攻 山本 静穂



40期 美術専攻 祖父江 昌子

フラダンス
オカリナ
旅行
パソコンペイント
早川 三神
良子 英生
五月

会 計

25協 会計第5号
2026年2月27日

2025年度 決 算 報 告 書

(自:2025年3月1日 ~ 至:2026年2月28日)

名古屋市高年大学鯨城学園学生会

【一般の部】

<収入の部>

(単位:円)

科 目	予算(A)	実績(B)	差額(B-A)	備 考
前 期 繰 越 金	640,013	640,013	0	
入 会 金	520,000	510,000	△ 10,000	40期生 510名 @1,000円
会 費	1,960,000	1,926,000	△ 34,000	39期生453名40期生 510名@2,000円
雑 収 入	—	2,273	2,273	預金利息等
合 計	3,120,013	3,078,286	△ 41,727	

<支出の部>

科 目	予算(A)	実績(B)	差額(B-A)	備 考
総 務 ・ 会 計	364,000	322,755	△ 41,245	パソコン、トナー、事務用消耗品等
体 育 委 員 会	272,000	235,566	△ 36,434	体育祭プログラム、機材搬入搬出費等
文 化 委 員 会	787,000	777,704	△ 9,296	展示設置費、文化祭パンフレット、備品等
ク ラ ブ 委 員 会	235,000	228,031	△ 6,969	クラブ紹介冊子印刷等
広 報 委 員 会	870,000	778,770	△ 91,230	鯨城誌印刷費、HP管理費、WEBサイト改訂費等
社会参加委員会	40,000	16,870	△ 23,130	清掃活動分担金等
予 備 費	50,000	0	△ 50,000	
小 計	2,618,000	2,359,696	△ 258,304	
次 期 繰 越 金	502,013	718,590	216,577	(内訳) 現金 83,955円、普通預金 634,635円
合 計	3,120,013	3,078,286	△ 41,727	

【積立の部】

<積立金の部>

(単位:円)

科 目	当初額(A)	実績(B)	繰越額(A±B)	備 考
積 立 金	500,000	0	500,000	定期預金元金継続

但し、2月16日より2月末日までの期間は執行停止とする。
上記の通り報告します。

学生会会長(39期)

出水 玲子

学生会副会長兼会計主任(39期)

小松 政宏

学生会副会長(40期)

角 英司

学生会会計主任(40期)

前田 英成

会計監査報告

会計諸帳簿を監査の結果、正確に執行されていることを認めます。

2026年2月27日

会計監査 鯨城学園事務長

甲 村 一美

会計監査 健康と福祉A専攻 (39期)

安 藤 めいり

会計監査 健康と福祉B専攻 (39期)

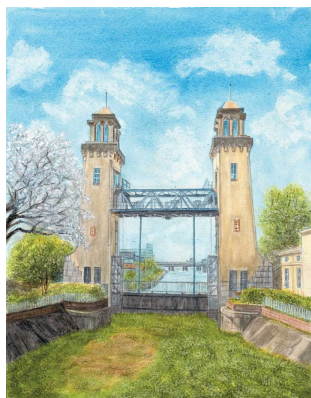
野 田 克敏



41 期 園芸専攻 後藤 若二



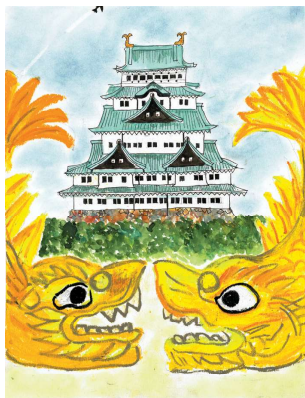
40 期 美術専攻 西川 鈴子



40 期 美術専攻 瀧ヶ平 斗喜子



40 期 美術専攻 渡邊 洋子



今回17点の素晴らしい力作が寄せられ、入選作品のみならず、次点の佳作、同率3位の作品もカラー印刷しました。

会 計

2026年度予算

(自: 2026年3月1日～至: 2027年2月28日)

名古屋市鯉城学園学生会
(単位: 円)

<収入の部>

科目	昨年度実績(A)	今年度予算(B)	差額(B-A)	備考
前期繰越金	640,013	718,590	78,577	
入会金	510,000	520,000	10,000	41期生 520名 @1,000円
会費	1,926,000	1,880,000	-46,000	40期生 420名 41期生 520名 @2,000円
雑収入	2,273		▲ 2,273	
合計	3,078,286	3,118,590	40,304	

<支出の部>

科目	昨年度実績(A)	今年度予算(B)	差額(B-A)	備考
総務・会計	322,755	209,000	-113,755	トナー、事務消耗品費等
体育委員会	235,566	156,500	-79,066	プログラム、体育祭用器具類・用具運搬費等
文化委員会	777,704	846,000	68,296	パネルレンタル・運搬費、プログラム印刷費等
クラブ委員会	228,031	246,500	18,469	クラブ紹介冊子印刷費等
広報委員会	778,770	788,770	10,000	鯉城誌(99号・100号)印刷費、HP管理費等
社会参加委員会	16,870	40,000	23,130	清掃活動費、活動負担金等
予備費	0	50,000	50,000	
小計	2,359,696	2,336,770	-22,926	
次期繰越金	718,590	781,820	63,230	
合計	3,078,286	3,118,590	40,304	

<積立金の部>

科目	繰越実績(A)	今年度予算(B)	差額(B-A)	備考
積立金	500,000	500,000	0	

編集後記

4月に41期生を迎え、新年度が始まり半年が過ぎようとしています。新しいクラスの仲間との絆、夫々のクラブ活動等、その生き生きとした学園生活の様子を鯉城99号から感じて頂ければ幸いです。

そして、いよいよ次号は鯉城100号となります。この100号という記念すべき鯉城誌の発行に立ち会えることに私たち広報委員会一同は喜びを感じています。

そこで、より素敵なより意味のある鯉城100号の発行のために、今回は初の試みとなる「鯉城誌に関するアンケート」を実施します。

鯉城99号の配布とともに別紙のアンケートを配布しますので、より多くの方にご回答頂き、その結果を鯉城100号に繋げていきたいと考えています。

編集スタッフ

40期 牛木ひとみ 小坂 康夫
朝日 和志 後藤 秀規
41期 秋江 寿枝 鬼頭 庸靖
満田 純子 富岡 令子



更に、鯉城誌のデジタル化につきましても、現在検討を重ねております。そのデジタル化に関する皆様のご意見も同時に伺いたいと思っています。

皆様の今までの鯉城誌に関する感想やご意見、鯉城100号でやってほしいこと等をお聞かせください。お待ちしております。